

## 令和4年度 文化観光部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
文化観光部長 頓宮 忍	<p><b>●使命</b></p> <p>私たち文化観光部は、市内に継承されてきた歴史的遺産や伝統文化を保護、保存、活用し、まちの個性を形づくる伝統文化や文化財を次世代に継承します。更に、優れた芸術文化に触れる機会や多様な文化活動の機会を提供することにより、人と文化の交流による豊かな文化の創造を進めます。また、豊かな自然や景観、歴史的遺産、伝統文化などの観光資源を活用し、情報発信事業をはじめとする観光関連事業を推進することにより、市の魅力を広く内外に発信し、交流人口の増加を図るとともに、地域の賑わいを創出します。</p> <p><b>●基本方針</b></p> <p>①文化財の調査等による保護、保存を推進し、併せて文化財等の効果的な活用を進めます。</p> <p>②市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の芸術文化を創造する活動を支援します。</p> <p>③大型観光キャンペーン等を機会として、観光客の誘致を促進し、市の知名度向上を図ります。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、観光需要の回復と喚起を図る施策を推進します。</p>	<b>所管課</b>	文化観光課 (備前長船刀剣博物館、瀬戸内市立美術館)		
		<b>人 員</b>	<b>正職員</b>	<b>会計年度 任用職員</b>	<b>合計</b>
		16 人	11 人	27 人	
		<b>一般会計</b>	595,092 (うち繰越明許 110,252) 千円		
		<b>特別会計</b>	0 千円		
		<b>計</b>	595,092 (うち繰越明許 110,252 ) 千円		
		<b>(うち人件費)</b>	(138,470 千円) (うち会計年度任用職員 23,863 千円) (そのうち地域おこし協力隊 2,328 千円)		



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 文化財の調査等による保護、保存及び文化財等の効果的な活用	<p>本市における文化財の保存活用に関する基本的な方針となる文化財保存活用地域計画策定(令和2年度～令和4年度)に向けた取組を進めます。</p> <p>地域と連携し、文化財の整備や情報発信を通じて、地域の歴史文化の保存・活用をめざします。</p> <p>歴史文化を活用して地域づくりを推進する団体を育成・支援します。</p>	<p>計画策定のための協議会を開催し、パブリックコメントを実施して、令和4年度内に地域計画を策定します。</p> <p>目標：地域計画の策定</p> <p>文化財の保存・活用が図られるよう、地域と連携して文化財の整備や情報発信を支援します。</p> <p>目標：支援した文化財 2件 (拠点整備1件、保存修理1件)</p> <p>公益財団法人寒風陶芸の里の機能強化を図り、文化財保存活用支援団体に指定し、育成・支援します。</p>	<p>8月にパブリックコメントを実施し、文化財保護審議会等の意見を反映した計画案を作成しました。また、計画の内容確認のため、計画案を文化庁に提出しました。</p> <p>補助金事業の公募を行ったところ、2件の申請があり、補助金の交付を決定しました。また、鹿忍神社本殿(市指定)の屋根修繕事業に対して保存修理補助金を交付しました。</p> <p>公益財団法人寒風陶芸の里が、財団の事業に歴史文化資源の保存・活用や地域活性化を推進する事業等に加え、公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団となりました。財団の事業支援として職員1名の出向や補助金の交付を決定しました。</p>	<p>計画案に対する文化庁の意見を反映し策定された地域計画は、12月16日に文化庁長官の認定を受けました。</p> <p>拠点整備補助金の交付決定を行った2件については、引き続き指導助言を行っています。また指定文化財修理の相談等について随時対応しています。</p> <p>歴史まちづくり財団への指導助言及び支援を行っています。また、歴史まちづくり財団主催の歴史講演会について、財団と連携し、2月25日の開催に向け準備を進めています。</p>	<p>策定(文化庁認定)した地域計画の冊子を作成し、関係団体に配付して周知しました。</p> <p>地域計画の策定完了</p> <p>拠点整備補助金事業2件が完了し、補助金を交付しました。また指定文化財修理の相談等について随時対応しています。</p> <p>支援した文化財 拠点整備 2件 保存修理 1件</p> <p>歴史まちづくり財団への指導助言及び支援を行いました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 優れた芸術文化に触れる機会の提供と芸術文化の創造活動への支援	<p>音楽を軸とした多種多様な文化芸術分野のコンサート等を開催するとともに、市民に音楽や芸能等の文化活動の鑑賞や実践の機会を提供する市内団体等を支援することにより、市民等が優れた文化芸術に触れる機会を創出します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>市民等が優れた文化芸術（音楽等）に触れるコンサート等を開催します。また、音楽や芸能等の鑑賞や実践の機会を企画・計画している文化振興関係団体に対して支援します。</p> <p>目標：市民が当該音楽文化芸術活動に参加した数 2,000人</p>	<p>第6回夢二コンクール出場者の募集を行い、全国から20名の申込みがありました。また、市民が優れた音楽等に触れる機会の創出に関する事業を実施する団体に対して補助金の交付を決定しました。</p>	<p>夢二コンクール予選を10月30日、本選を12月4日に開催し、予選20名、本選9名が出場しました。夢二コンクール本選には、約100名が来場しました。市内団体が補助金を活用し、3月末に第九コンサートの開催を予定しています。</p>	<p>市内 19 校園でスクールコンサートを開催しました。また、市内団体が補助金を活用し、市民が参加する第九コンサートが3月26日に開催されました。</p> <p>市民が当該活動に参加した数 総計約 1,800人</p>
	<p>備前長船刀剣博物館において、特別展やテーマ展を計画・実行し、刀剣文化の魅力を広めていきます。また、拠点計画や山鳥毛里づくりプロジェクトに基づいた取組を行います。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>特別展2回、テーマ展4回を開催します。国宝「山鳥毛」の展示機会を活用し、地域や民間事業者と連携した取組を行います。新たな駐車場を整備します。</p> <p>目標： 入館者数 37,000人／年 新駐車場の完成</p>	<p>特別展1回、テーマ展2回を開催し、9/30から現代の刀職を顕彰する特別展を開催しています。また、国宝「山鳥毛」公開に合わせて地域等と連携したイベントを開催しました。</p> <p>9月末入館者数 18,337人／4-9月</p>	<p>特別展2回、テーマ展3回を開催しました。12月には外装を中心としたテーマ展にて山鳥毛拵を初公開し、新駐車場整備に向けた用地交渉を進めています。</p> <p>1月末入館者数 26,691人／4-1月</p>	<p>特別展2回、テーマ展4回を開催しました。新駐車場整備に向けた用地交渉がまとまり、整備に向けた調整を進めました。</p> <p>入館者数 30,612人／年</p>
	<p>瀬戸内市立美術館の魅力向上や新たな来館者層を増やすため、魅力ある特別展や企画展を開催します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響あり</p>	<p>特別展3回、企画展5回を開催します。特別展や企画展では郷土ゆかりの芸術家を取り上げるなど美術を身近に感じる取組も行います。</p> <p>目標入館者数 美術館：21,000人／年</p>	<p>特別展2回、企画展2回を開催しました。市内在住の作家を顕彰する特別展(10/9-1/15)の開催準備を進めています。</p> <p>9月末入館者数 17,936人／4-9月</p>	<p>特別展3回、企画展2回を開催しました。10月から1月には市内在住の日本画家・井手康人氏を顕彰する特別展に合わせ、地域イベントを実施しました。</p> <p>1月末入館者数 21,236人／4-1月</p>	<p>特別展3回、企画展5回を開催しました。</p> <p>入館者数 24,844人／年</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
3	<p>大型観光キャンペーン等を機会とした観光客の誘致と市の知名度の向上</p>	<p>大型観光キャンペーンや広域連携事業に参画することを通じて、効果的な情報発信に取り組むことで観光客の誘致と市の知名度向上を図ります。</p>	<p>目標入込客数 62,000人/月</p>	<p>岡山デスティネーションキャンペーンと連携して7月20日から8月31日までアートイベント「mt×牛窓」を行いました。また、岡山市と連携して岡山市内と瀬戸内市内を周遊するモニターツアーを実施しました。 (9月末実績 66,282人/月)</p>	<p>10月から12月にかけて行われた「秋旅キャンペーン」及び岡山県観光連盟等が主催する誘客イベントに参画し、宿泊応援キャンペーンの周知など誘客事業を実施しました。 (12月末実績 88,756人/月)</p>	<p>来年度の岡山デスティネーションキャンペーンアフター期間に向け、岡山県観光連盟及び備前県民局等が主催する誘客イベントへの参画、また観光商談会に参加し旅行会社に対するツアー造成の働きかけを実施しました。 入込客数 (R5.3月末実績) 82,553人/月</p>
4	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めた観光需要の回復及び喚起</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、観光客の回遊性を増進する取組を進め、滞在時間の延伸を図り、観光需要の早期回復及び喚起を図ります。</p>	<p>目標宿泊者数 25,000人/年 回遊性向上のための事業の実施数 2件</p>	<p>市内の回遊性を向上し、滞在時間の延伸を図るため、7月22日から9月末まで牛窓地区の店舗を巡るスタンプラリーを実施しました。また、備前長船刀剣博物館の特別展に合わせて、長船地区と邑久地区を周遊する無料巡回バスを運行しました。 宿泊応援キャンペーンを中心とした観光促進業務を行う企画提案を募りました。  回遊性向上のための事業実施件数 2件</p>	<p>宿泊応援キャンペーンと連動し、宿泊施設への誘客を図るため、宿泊客と宿泊施設のマッチングを行うシステムの開発を行いました。  同左</p>	<p>宿泊応援キャンペーンと連動し、宿泊施設への誘客を図るため、宿泊客と宿泊施設のマッチングを行うシステムの運用が開始され、さらに宿泊者に向けて地域の観光情報を紹介する冊子を制作しました。  宿泊者数36,498人 同左</p>